

カーボンニュートラルを見据えた 環境配慮型有機材料の開発、利用に向けて

カーボンニュートラルを見据え、ものづくり産業では生産プロセスの省エネルギー化とともに、材料面では、化石資源の利用低減と、生物資源や再生樹脂、未利用材料等を活用した“**環境配慮型有機材料**”の開発、利用が求められるようになってきました。そこで、プラスチック・有機材料の複合化に関する技術情報の提供と、その他成果について紹介するセミナーを開催します。

講演 1

13:40~15:10

カーボンニュートラル社会の実現を目指す 木材・プラスチック複合化による木質循環複合材料の 成形技術とマルチマテリアル化

(国研)産業技術総合研究所 材料・化学領域 マルチマテリアル研究部門

木質循環複合材料グループ 主任研究員 **関 雅子 氏**

現在実施中のNEDO エネルギー・環境新技術先導研究プログラム「木質CCUS を加速する資源循環システムの開発」とその基盤技術である木材と樹脂を複合化させる木質素材の新しい成形技術についてご紹介します。また、同プログラムで取り組む自動車内装用の木質意匠パネルや家電素材の開発等についてもご紹介します。

CO₂ Capture, Utilization and Storage :二酸化炭素回収・有効利用・貯留

講演 2

15:10~15:30

プラスチックと天然資源を用いた環境配慮型有機材料

(地独)鳥取県産業技術センター有機材料グループ

研究員 **村田 拓哉**

環境配慮型有機材料の社会的背景とセンターの取り組みを紹介します。

講演 3

15:30~15:45

環境配慮型有機材料としての木材、木質材料

(地独)鳥取県産業技術センター有機材料グループ

上席研究員 **谷岡 晃和**

木材、木質材料とその研究成果、取り組みを紹介します。

日時 2023年 7月27日(木) 13:30~15:50

場所 鳥取県産業技術センター電子・有機素材研究所(鳥取市若葉台南7丁目1-1)
(現地開催のみ)対象 県内のプラスチック、ゴム、塗料、木材、紙、電気・電子関連の企業技術者、
経営者の方 等

参加費 無料

定員 30名

講師プロフィール

関 雅子 (せき まさこ) 氏

(国研) 産業技術総合研究所 材料・化学領域 マルチマテリアル研究部門
木質循環複合材料グループ 主任研究員

経歴：2011年11月 岐阜大学 複合材料研究センター 特任助教

2013年3月 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 博士(農学)取得

2013年4月 (国研) 産業技術総合研究所 入所、以来木質系材料の成形技術に関する研究に従事、現在に至る

村田 拓哉 (むらた たくや)

(地独) 鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所 有機材料グループ 研究員
プラスチックの成形加工、高分子材料に係る研究・企業支援を担当

谷岡 晃和 (たにおか あきかず)

(地独) 鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所 有機材料グループ 上席研究員
木質材料の開発、木製品の加工、強度評価等に係る研究・企業支援を担当

第1回環境配慮型有機材料セミナー(7/27開催) 申込書

申込み方法：下記に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお送り下さい

申込み期限：7月24日(月)

参加申込み・問合せ先：

(地独) 鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所
有機材料グループ 谷岡

〒689-1112 鳥取市若葉台南7丁目1-1

TEL：0857-38-6200

FAX：0857-38-6210

E-mail：tani@tiitor.jp

| | | | |
|--------|----|-------|--|
| 会社名 | | | |
| 所在地 | | | |
| TEL | | FAX | |
| E-mail | | | |
| 参加者 | 氏名 | 部署・役職 | |
| | | | |

記載された個人情報は当センターで適切に管理し、本講習会以外の目的には使用しません。
なお、当該情報は法令に定める場合を除き、第三者に提供することはありません。